

道より小径

冬至のカボチャ料理、大みそかの年越しそば、お正月のお雑煮、おせち、7日の七草がゆ、節分の福豆ひな祭りのあられ、ひし餅…。身近に息づく日本文化の表れが行事食です。年末から春先までは、行事食の機会が多く、子どもの頃には大いに楽しみをしていたものでした。年齢の数だけ豆を食べるなど、縁起やいわれの話も面白く、知らず知らずに文化の伝承がなされてきたように思います。

誰もが共通の話題として話せる行事食ですが、その具体的な内容やディテールは、地域や家庭などによって驚くほど様々です。北海道で育った我が家のお雑煮は、しょうゆ味でありあわせの野菜などと鶏肉の汁で、四角い餅を焼かずに煮込んだものでした。白みその汁にあんの入った焼いた丸餅というのは四国出身の人に聞いたものです。お雑煮やおせちでは、どんな人とも相当長時間楽しく話すことができます。

「中野区民生活史」第1巻には、明治の頃の年中行事が紹介されています。江古田のある家では、月遅れに新年を祝う「おせち」をして、手打ちそばを打って、親戚に配ったり、手作りの料理とともに来客にふるまったりしたそうです。雑色(現在の弥生町・南台)、上高田などでは、正月三が日は男が料理したそうで、自分のところでとれた野菜で、主にしょうゆ味のお雑煮をつくったそうです。また、「小正月」にまゆ玉団子をつくったことなど、当時の農村生活がしのべれます。

様々な地域から人が集まって形成されている現在の中野のまち。地域の文化が混ざり合うことで、人々が持っている文化的背景は薄まりながら、次第に新たな共通性を形成していくのだらうと思います。グローバル化の影響で文化が無国籍化している傾向もあります。しかし、自分の本来持っている文化へのこだわりは手放したくないと思います。

区長 田中大輔

介護予防講演会

「エクササイズで脳力アップ!」



松が丘シニアプラザ
☎(5380)5761 FAX(5380)5762
虚弱な状態にならないための運動や楽しみながらできる認知症予防について学びます。早稲田大学の津軽三味線団体による演奏の披露も。

- 日時 2月28日(火) 午後1時半~4時
 - 会場 野方区民ホール(野方5-3-1)
 - 講師 上岡尚代氏(了徳寺大学整復医療・トレーナー学科准教授)
- ☆当日直接会場へ。先着240人

くらしの講座

「災害時の食事と健康」

消費生活センター/1階
☎(3389)1191 FAX(3389)1199
簡単に用意できる防災食の紹介や食の備えなど、災害時の健康維持のポイントを管理栄養士に学びます。

- 日時 2月28日(火) 午後2時15分~4時15分
- 会場 区役所9階会議室
- 申込み 2月6日~21日に電子申請か、電話で消費生活センターへ。先着42人 ☆一時保育希望の方は、あわせて申し込みを。先着5人

みどりの教室

「花とイチゴで春を楽しむ寄せ植え」

緑化推進担当/9階
☎(3228)5554 FAX(3228)5673

- 日時 3月19日(日) 午後1時半~3時
- 会場 区役所7階会議室
- 講師 早船時良氏(園芸研究家)
- 参加費 1,500円(教材費。寄せ植えは持ち帰れます)
- 申込み 応募は一人1回のみ。2月6日から電子申請か、ハガキ(「みどりの教室参加希望」、郵便番号、住所、氏名とふりがな、日中連絡可能な電話番号、区内在勤・在学の方は勤務先・通学先の名称と所在地、一時保育希望の方はお子さんの氏名とふりがな、月年齢を記入)で、緑化推進担当へ。2月20日必着。抽選で50人。結果は、全応募者に郵送などで通知

暮らしを豊かに

楽しく学んで生かそう

春はもつすべ。寒くても、家にばかりいなくて出かけてみませんか。

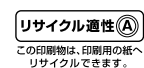


世帯と人口 1月1日現在。()内は前月比

住民基本台帳	世帯数	人口(人)			合計
		男	女	小計	
日本人	187,015 ※ (89減)	156,204 (66減)	153,563 (57減)	309,767 (123減)	325,460 (115減)
外国人	11,406 (15減)	7,973 (13増)	7,720 (5減)	15,693 (8増)	

※日本人と外国人の混合世帯 1,957 を含む

次号予告
〈特集〉地震への備えを



日本製紙「リサイクル上質70」を使用しています。この紙の古紙パルプ配合率については、製紙会社の出庫証明書により、確認済みです。

☆区内各家庭の郵便受けなどに配布しています